

健康教育プロジェクト進捗報告

ヘルスリテラシー向上

～ 健康教育支援とその環境整備に向けて ～

(報告要旨)

- ・小学生用教育教材の公開
- ・教材の活用状況
- ・薬物乱用防止に連動した教材の作成
- ・各種団体との連携

ご意見を賜りたいこと

1. 教材の内容について
2. 各種団体との連携について

0. 当PJの活動目的



日本OTC医薬品協会

2023年5月21日実施

アドバイザリーボード資料から抜粋

1. 目的

「ヘルスリテラシー教育(*)のできる環境整備」の支援
教育現場で健康三原則(栄養・睡眠・運動)を更に進め、定着させて
いくための支援を実施する

2. 目標の考え方

健康三原則の充実と、体調維持に必要な情報を小学3～6年生を中心に、
(中・高校生も含む) 提供し、理解を深めるとともに、これらの子供を
持つ親御さんの理解を深めること。

【ターゲット】

小学生
(3～6年生)

中学生

高校生

及び、上記の教育指導者(教員・学校薬剤師・
養護教諭など)、親御さん



そのため、教育指導者へ
情報提供を行う。

1) 健康教育資材の提供と活用

□ 学校薬剤師の支援を軸に進める

- ・中学生・高校性向けくすり教育教材および手引きの公開・提供：'23.4
- ・「健康とくすり」教育教材(小学生向け)・実験動画および手引きの公開・提供：'24.4
- ・キャリア教育を活用した教材の効果検証：'24.9、'24.10
- ・ダウンロードした薬剤師ほかへのアンケート調査・ヒアリング

2) 関係機関や団体との連携

□ 教育機関や関係団体、専門家との連携

- ・厚労省『一般用医薬品の乱用防止対策ワーキンググループ』へのオブザーバ参加
(孤立・孤独対策に対する施策の推進を図るための重点計画【内閣府】施策No.54)
- ・東京都医師会・東京都薬剤師会とのオーバードーズ予防に向けた小学生向け健康教育
(くすりの適正使用教育)の取組み

2. 小学生用教育教材の公開



日本OTC医薬品協会

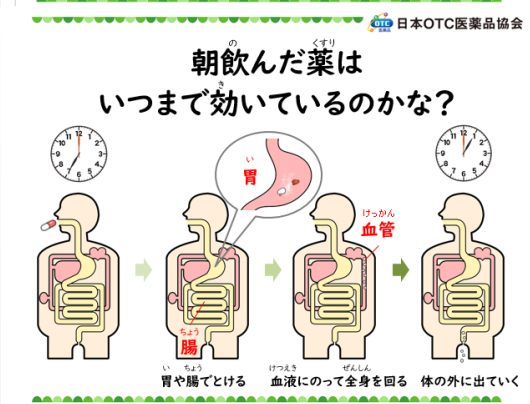
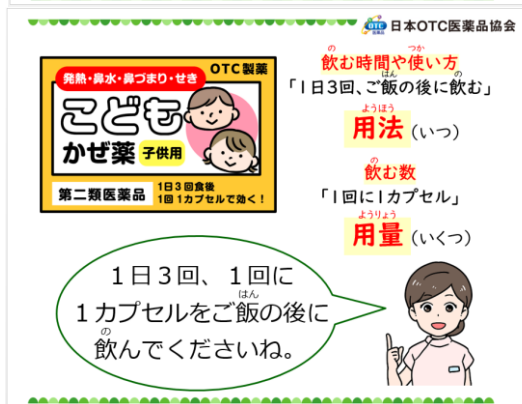
教育教材作成

「健康とくすり」教育教材(小学生向き)

<https://www.jsmi.jp/med/education/index.html>

リリース日：2024年4月8日

1. 健康について考えよう
2. 薬のことを知ろう
3. 実験してみよう
4. まとめ



2. 小学生用教育教材の公開



日本OTC医薬品協会

教育教材(小学生向き)実験動画

<https://www.jsmi.jp/med/education/index.html>

リリース日：2024年4月8日

OTC 日本OTC医薬品協会

やってみよう!

じっけん
ペタペタ実験

ゆび
指先を少ししめらせてカプセルにさわってみると…?
つぎ
次に、しっかりぬらしてカプセルにさわると…?

水 カプセル

時間：1'29"

OTC 日本OTC医薬品協会

ルール!

くすりの薬は水かぬるま湯で飲む

水 ジュース

胃に入る前に
くすり はたら 薬の働きがなくなる

時間：1'38"

教育教材のダウンロード状況

小学生用教材

- ・2024年4月～10月 119名(ダウンロード数132回)
- ・119名のうち、92名(77.3%)が学校薬剤師(薬剤師を含む)や教諭
- ・これらの方の使用目的は、89.1%がくすり教育などの授業、地域等の健康イベント、薬物乱用防止教室等

中高校生用教材

- ・2023年4月～2024年10月 356名(ダウンロード数424回)
- ・356名のうち、240名(67.4%)が学校薬剤師(薬剤師を含む)や教諭
- ・これらの方の使用目的は、86.1%がくすり教育などの授業、地域等の健康イベント、薬物乱用防止教室等

**学校薬剤師やくすり教育に携わる教員などの利用が多く、
所期の目標を果たしていると思われる**

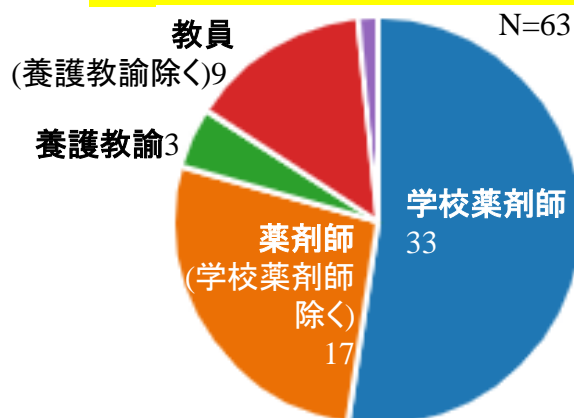
中高生用教材についてのアンケート結果



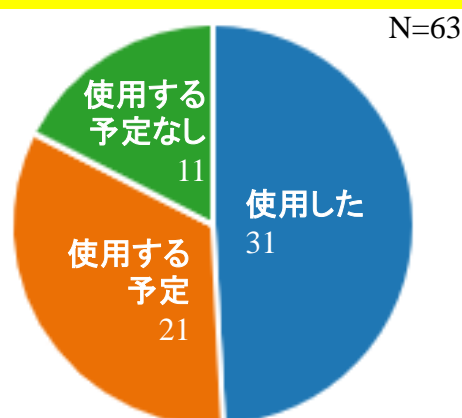
日本OTC医薬品協会

- 中・高校生向けとして教材を提供したが、地域住民や医療関係者などの研修等にも活用されている。
- くすりの正しい利用法や主作用・副作用の活用度が高く、健康やヘルスリテラシーも活用されている。
- 今後、ヒアリングを含め、改善点や有効活用法を検討する。

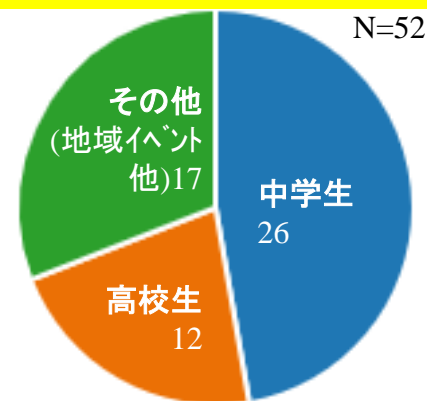
アンケート回答者の内訳(名)



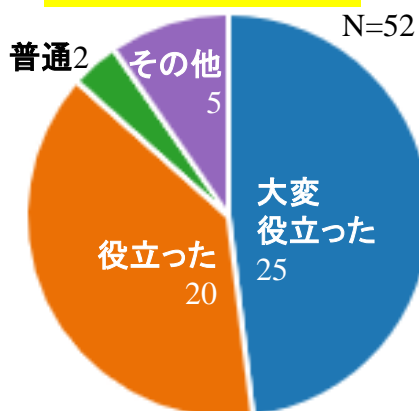
実際に使用しましたか？(名)



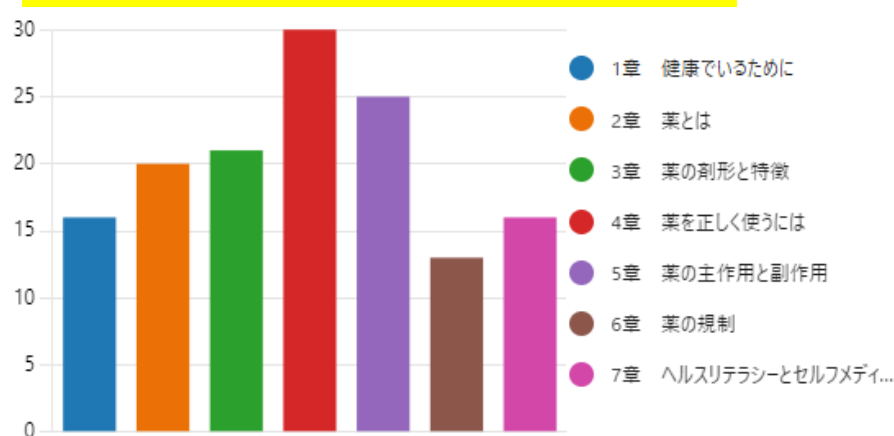
使用対象者は？(複数回答)(名)



役立ったか？(名)



役立った章はどこですか？(複数回答)(名)



良かった点・改善点は？

- N=15
- ・くすり教育は、中学生・高校生においては「薬物乱用防止教育」を通じて行うことが多いことから、現在問題となっている、**OTCのオーバードーズや危険ドラッグについて追記があれば幸いです。**
 - ・健康とはのプロローグはとてもよい。副作用の部分の説明する時に、もう少し分類分けしてあると、理解しやすい。
 - ・自然治癒力→薬について→健康であることが大事、ヘルスリテラシー、という流れがとても良いと思いました。

4. 薬物乱用防止に連動した教材の作成



日本OTC医薬品協会

公表済みの教育教材に組み込む形で作成

- ・薬物乱用とは何かを説明した上で、くすりのルールを守ることの重要性、誘われた時の断り方や大人へ相談することを盛り込んだ。

小学生用(案)

4. 薬物乱用って何？

知っておこう！

「薬物」の正しい知識とルール

●薬物乱用って何？

薬物乱用とは・・・

2つがあります。
①薬品をルールを守らずに使うこと。
②使ってはいけない「薬物」を使うこと。



社会には色々なルールがありますが・・・

病院でもらう薬や薬局で売っている薬には？

薬のルールがあります

「飲む数」 「飲み方」



用法・用量を必ず守ること。
守らない場合は、**薬物乱用**になります。

薬を使うときのルールを守らないと・・・



おなかが痛くなっちゃった・・・



命が危なくなることも



気分が悪くなってきた。
助けて・・・

天使のような
悪魔のささやき～甘い言葉に注意～

使ってはいけない薬物にはどんなものがあるの？

小学校低学年、高学年、中・高生でスライドを変えることを検討中

- ・大麻
- ・覚せい剤
- ・危険ドラッグ、指定薬物
- ・コカイン、合成麻薬



❗ 持っているだけで、法律違反の薬物

ひとりで悩まずに
だれかに相談しましょう。



※中高生用(検討中)

【映写のみ】出前授業時の様子

私立T小学校



日本OTC医薬品協会



保護者も同席で参観



ペタペタ実験
指にカプセルが付く



身体のどこに使うか
薬を貼り付ける



ジュース実験で驚き



クイズ形式で知識の定着化

実施時期： 私立T小学校(9/11実施)、公立K小学校(10/24実施)

授業内容：

- ・健康でいるために必要なことは何だろうか
- ・薬の形、用法・用量、主作用と副作用などを実験を通じて学ぶ
- ・**薬物乱用とは何か、正しい知識とルールを学び、大人に相談することを知る**

当日の時間配分

健康・くすり教育	約30分
ペタペタ実験・ジュース実験	約10分
キャリア教育	約5分
質問、その他	約5分

生徒のコメント：

- ・食事、運動、睡眠が大切なことがわかりました。
- ・くすりはジュースと一緒に飲んではいけないことがわかりました。
- ・**くすりでやっちゃいけないことがわかりました。**
- ・**くすりにはルールがある(友達のかすりをもらわないのみすぎはよくない)。**

教師のコメント：

- ・イラストを多く取り入れた資料や、児童が活動できる実験などの企画が良かったです。
- ・児童がとても楽しそうにしていた姿が印象的で、とてもわかりやすく良かった。
- ・まとめの〇×クイズの内容が授業を受ける前からわかるレベルだったので、“授業を聞いたからこそわかった”にレベルアップしてもいいかと思いました。

東京健康教育に関する協議

協議したステークホルダー(個別)

- ・ 東京都医師会
- ・ 東京都薬剤師会

得られたコンセンサス

- ・ さまざまなステークホルダーの共通理解に基づく、教育資材の開発
- ・ 学校医・学校薬剤師による学校保健会でのくすり教育の提案・導入
- ・ 学校医・学校薬剤師によるくすり教育の実施・事例共有、発信

目的

オーバードーズの予防を目指し、
都内の小学校における“くすりの適正使用教育”の普及を図る
“ヘルスリテラシーの向上、オーバードーズ予防を東京から始める！”

今後の取組み

3者が共同して、上記コンセンサスを実施するための体制を整え、推進する

ご意見を賜りたいこと

1. 教材の内容について
2. 各種団体との連携について

Appendix

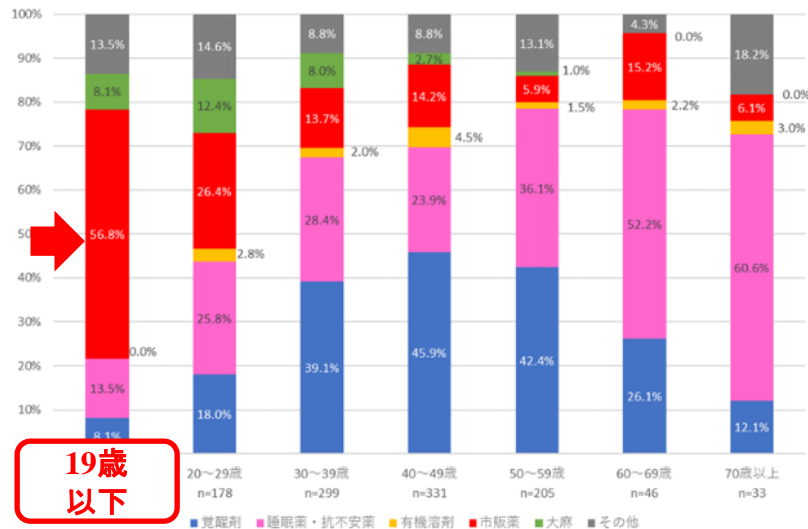
- ・オーバードーズ(OD)の現状について
- ・ODに対する各ステークホルダーの対応(教育関連)
厚生労働省 東京都
日本医師会 日本薬剤師会 JACDS RAD-AR
OTC薬協 会員企業
- ・実験動画（ぺたぺた実験、ジュース実験）
- ・薬物乱用防止に連動した教材開発への取り組み方
- ・学校薬剤師が担うヘルスリテラシー教育
- ・学校保健会・学校保健委員会の構成

オーバードーズ(OD)の現状について



日本OTC医薬品協会

精神科医療施設を受診する薬物関連精神疾患患者の 主たる薬物（1年以内に使用歴のある者）



19歳
以下

松本俊彦, 他「全国精神科医療施設における薬物関連精神疾患の実態調査」令和2年度厚生労働行政推進調査事業費補助金医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業「薬物乱用・依存状況の実態把握と薬物依存症者の社会復帰に向けた支援に関する研究(研究代表者: 嶋根卓也)」総括・分担研究報告書, pp41-104, 2021.

図4. 全国の精神科医療施設における薬物依存症の 治療を受けた10代患者の「主たる薬物」の推移



参考: 全国精神科医療施設における薬物関連精神疾患の実態調査(2020年)

「過去1年以内に市販薬の乱用経験がある」という高校生

約60人に1人の割合

(高校生全体の1.57%、推計値)

薬物使用と生活に関する全国高校生調査2021(国立精神・神経医療研究センター)

対話・スキル教育が中心に



「市販薬乱用に対する学校薬剤師への期待」
～脅しの教育からスキル教育へ～

国立精神医療研究センター 薬物依存研究部
心理社会研究室 嶋根卓也室長

大麻よりも対話しよう。
未来の自分と。

1) 国・地方自治体

- ・孤立・孤独対策に対する施策の推進を図るための重点計画【内閣府】
学校薬剤師・地区薬剤師会を活用したOTC乱用防止対策事業厚生労働省】
①啓発冊子②啓発動画③対応マニュアル④若年者・家族向けセミナー
- ・東京都薬物乱用対策推進計画【東京都】
①医薬品の正しい使用方法の普及啓発②普及啓発を担う人材育成③回復支援ほか

2) 医師会・薬剤師会・JACDS・RAD-AR

- ・日本医師会 教えて！日医君！「絶対ダメ！オーバードーズ」
- ・日本薬剤師会 オーバードーズに関する啓発ポスター、小学生向けショート動画、教材
- ・JACDS JACDS版受診勧奨ガイドライン普及啓発セミナー
- ・RAD-AR OD対処法啓発資材 児童・生徒の薬物乱用防止に関する覚書

3) OTC薬協・会員企業

- ・健康教育PJ「健康とくすり」教育教材(小学生向け)「くすり教育教材(中学生・高校生向け)」
実験動画 出前授業
- ・会員企業 ヘルスリテラシーを培うためのサマースクールなど

- ・孤立・孤独対策に対する施策の推進を図るための重点計画【内閣府】
学校薬剤師・地区薬剤師会を活用したOTC乱用防止対策事業厚生労働省】
①啓発冊子②啓発動画③対応マニュアル④若年者・家族向けセミナー

施策 No. 54

- (2) 状況に合わせた切れ目のない相談支援につなげる
- ③関連施策の推進

● 学校薬剤師・地区薬剤師会を活用したOTC乱用防止対策事業【厚生労働省】

<施策の概要>

OTC医薬品の乱用の背景の一つと考えられる孤独・孤立を抱える方の支援にもつながるという認識の下、家族等による乱用者への支援方策等の周知や、OTC医薬品の乱用防止に係る啓発活動を行う。

【目標及び達成の期間】

「医薬品の販売制度に関する検討会とりまとめ」(令和6年1月12日公表)において、「OTC医薬品の濫用の拡大防止に当たっては、医薬品の販売方法の規制や適正使用に係る啓発といった対策のみならず、その背景として指摘されている自殺対策や孤独・孤立対策等の社会的不安への対応についても、関係府省庁間で連携し取組を進めることが重要」とされたことも踏まえ、OTC医薬品の乱用の背景の一つと考えられる孤独・孤立を抱える方の支援にもつながるという認識の下、令和6年度は、青少年に対する乱用防止の啓発活動を行う。

これにより、特にこども・若者のヘルスリテラシーの向上を図ることを通じて、包摂社会の実現及び国民の保健衛生上の危害の発生・拡大の防止等を目指す。

学校薬剤師・地区薬剤師会を活用した一般用医薬品の乱用防止対策

ワーキンググループ構成員 名簿

加藤哲太（一般社団法人 日本くすり教育研究所 代表理事）

嶋根卓也（国立精神・神経医療研究センター 薬物依存研究部 心理社会研究室長）

田橋美佳

（横浜市薬剤師会及び神奈川区薬剤師会 会員／薬樹薬局 三ツ沢／学校担当薬剤師）

富永 孝治（公益社団法人 日本薬剤師会 常務理事）

成瀬暢也（埼玉県立精神医療センター 副病院長）

西前 多香哉（アオイ薬局／和歌山県薬剤師会）

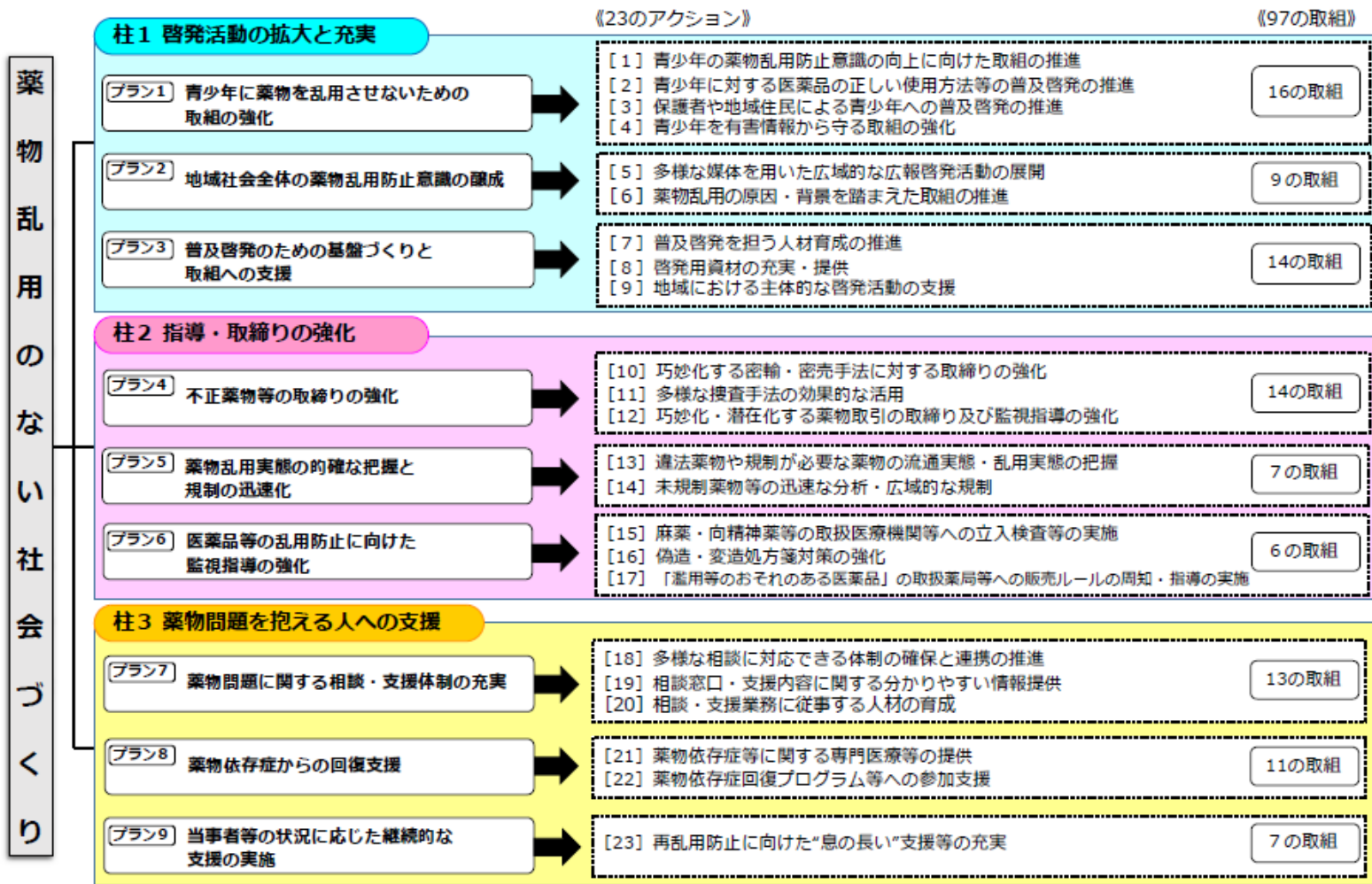
堀口忠利（B.A.S.E.代表／聖マリアンナ医科大学医学文化教育部門非常勤講師）

（50 音順）※敬称略

・東京都薬物乱用対策推進計画【東京都】

① 医薬品の正しい使用方法の普及啓発 ② 普及啓発を担う人材育成 ③ 回復支援ほか

東京都薬物乱用対策推進計画（令和5年度改定）（素案）の体系図

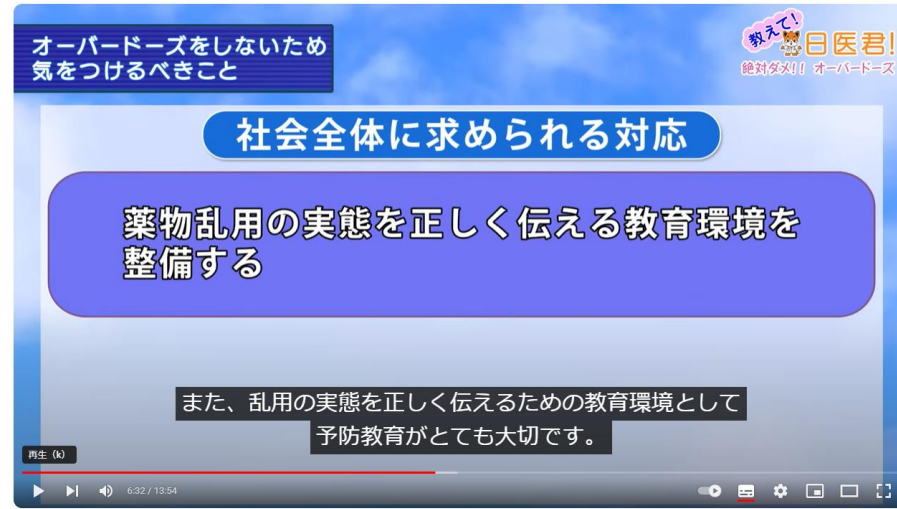
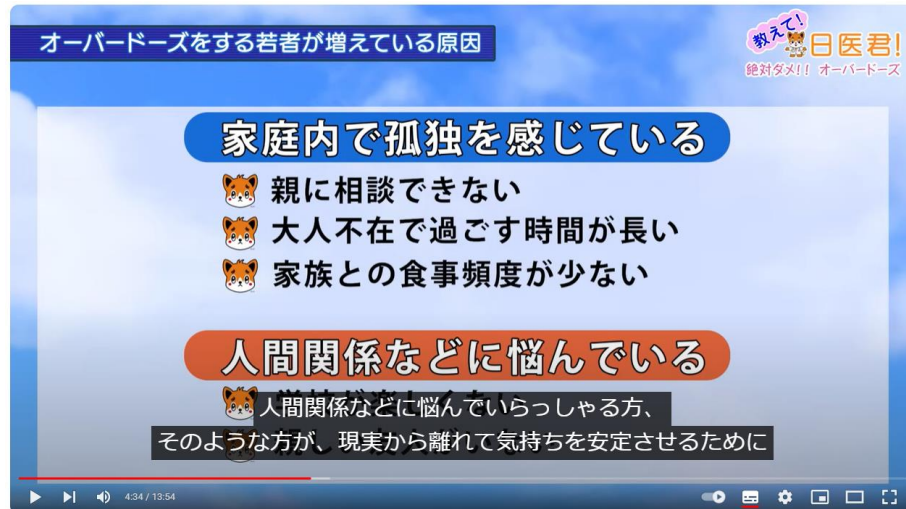


ODに対する各ステークホルダーの対応(教育関連)



日本OTC医薬品協会

- ・日本医師会 教えて！日医君！「絶対ダメ！オーバードーズ」
<https://www.youtube.com/watch?v=X9dcbnJVgs4>



ODに対する各ステークホルダーの対応(教育関連)



日本OTC医薬品協会

- ・日本薬剤師会 オーバードーズに関する啓発ポスター、小学生向けショート動画、教材

小学生向けショート動画



「自分」や「周りの人達」が悩んでいたなら相談窓口があります。

秘密は厳守します!

公認代理人
日本薬剤師会
Japan Pharmaceutical Association



～くすりのルール～

- くすりはあげたりもらったりしないようにしましょう
- くすりは水かぬるま湯で飲みましょう
- くすりは飲む量を守りましょう



みんなでくすりのルールを守ろう

びょうき なお もくてき い
病気やけがを治す目的以外で
つか やくぶつ らんよう
くすりを使うことは薬物乱用です



・ JACDS JACDS版受診勧奨ガイドライン普及啓発セミナー

JACDS 版受診勧奨ガイドライン普及啓発セミナー ～動き始めた医薬品登録販売者による受診勧奨 その期待と課題～

日時:2024年8月31日(土) 11:00~13:00

場所:東京ビッグサイト 東6ホール セミナールーム

受診勧奨ガイドラインを活用した事例を紹介

JACDS 学術・調査研究委員会では、ドラッグストアが健康生活拠点「健活ステーション」機能確立のための役割、機能としての OTC 医薬品販売時の受診勧奨を業界全体として対応するため普及啓発活動を行っています。

今回のセミナーでは学術・調査研究委員会 学術顧問 総合診療医・感染症専門医の岸田直樹先生から基調講演をいただきます。岸田顧問は救急外来の研修医当直指導をされており、オーバードーズ患者の対応をすることがあるとのこと。また本年4月からの医師の働き方改革による医療体制縮小に対応するための薬局、ドラッグストアの役割に期待されています。講演ではこうした社会情勢を踏まえ、『質の高い OTC 販売』について「受診勧奨」、「オーバードーズ」といった観点を盛り込みながらお話いただきます。

続く、パネルディスカッションでは「動き始めたドラッグストアにおける受診勧奨 成果の事例紹介と今後の課題」と題し、「クリニックと連携した受診勧奨の事例」、「タブレットを使用したカウンセリング販売ツールへの受診勧奨の組み込み事例」、「協会としての登録販売者向け研修教材のサポート」といった事例を紹介しながら、意見交換を行います。多数のご参加をお待ちしております。

■開催概要

【日 時】2024年8月31日(土) 11:00~13:00

【会 場】東京ビッグサイト 東6ホール セミナールームA

【参 加 料】無料

【お申込み】ドラッグストアショーHP より来場登録の上、セミナー申込をして下さい。

<https://www.drugstoreshow.jp/>

トップページで来場登録



<https://www.drugstoreshow.jp/seminar/business.html#b1>

セミナー申込ページはこちら



【結 切】定員に達し次第締切ります

【プログラム】

基調講演

テーマ:「医療従事者から見たドラッグストアにおける『質の高い OTC 販売』への期待」

演 者: JACDS 学術・調査研究委員会 学術顧問/総合診療医・感染症専門医 岸田直樹 氏

パネルディスカッション

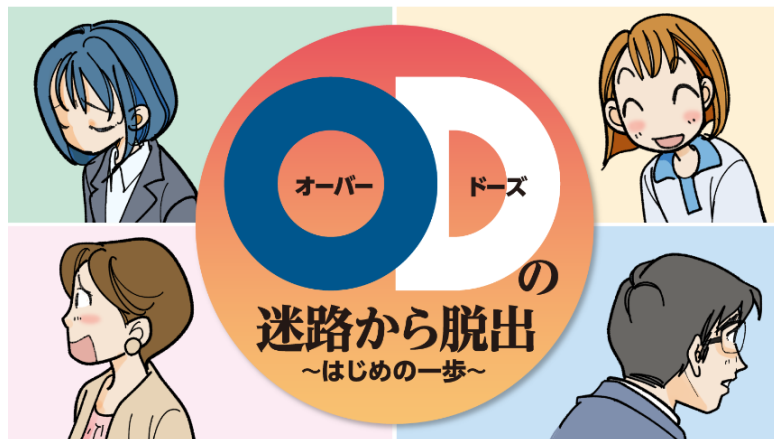
テーマ: ～動き始めたドラッグストアにおける受診勧奨 成果の事例紹介と今後の課題～

パネリスト:

JACDS 学術・調査研究委員会学術顧問/総合診療医	岸田直樹 氏
JACDS 学術・調査研究委員会委員長 (丸大サクラ薬局)	櫻井 清
JACDS 学術・調査研究委員会委員 (新生堂薬局)	水田 怜
JACDS 学術・調査研究委員会委員 (ツルハホールディングス)	木根崇臣
JACDS 学術・調査研究委員会委員 (マツキヨココカラ&カンパニー)	荒木文明
進 行: JACDS 学術・調査研究委員会副委員長 (スギ薬局)	杉浦伸哉

・ RAD-AR OD対処法啓発資材

児童・生徒の薬物乱用防止に関する覚書 (警視庁・東京都薬剤師会・RAD-AR)



本日、一般社団法人くすりの適正使用協議会(東京都・中央区、以下協議会)は、警視庁、東京都薬剤師会および日本薬剤師会と【児童・生徒の薬物乱用防止に関する覚書】を締結しました。

警視庁と東京都薬剤師会が「～正しい知識で自分を守る～TOKYO薬物乱用防止教室」を東京都内の小学校、中学校及び高等学校等において共同実施し、児童・生徒の薬物乱用の危険性に関する正しい知識の習得と規範意識の醸成を図るとともに、四者が連携して児童・生徒を薬物乱用から守るための小売店舗等における取組の推進を図ります。協議会は、教育資材の提供など、これまでのくすり教育の支援活動をさらに進めてまいります。

各ステークホルダーのODへの対応(教育関連)

・ OTC薬協・会員企業

健康教育PJ 「健康とくすり」教育教材(小学生向け)、「くすり教育教材(中学生・高校生向け)」

会員企業 ヘルスリテラシーを培うためのサマースクールなど



お薬のお仕事について、聞いてみたい？

製薬会社を探検しよう

サノフィ・グループ
サマースクール&オフィスツアー



サノフィは次世代を担う皆さんを応援しています！

開催日：2024年8月22日（木）
会場：サノフィ株
プログラム

- 9:45～ 東
- 10:00～ ウ
- 10:30～ オ
- * 12:00～ ラ
- 13:00～ 社
- 13:30～ お
- 14:30～ オ
- 15:50～ ク

KID 認定NF



薬の正しい飲み方

じっけん
実験その1

パタパタ実験

薬の正しい飲み方

じっけん 実験その2

ジュース実験

オーバードーズへの対応

2方面からの対応が必要



教育・広報・啓発を
通じた意識の向上による

未然防止

くすり教育、薬物乱用防止教室

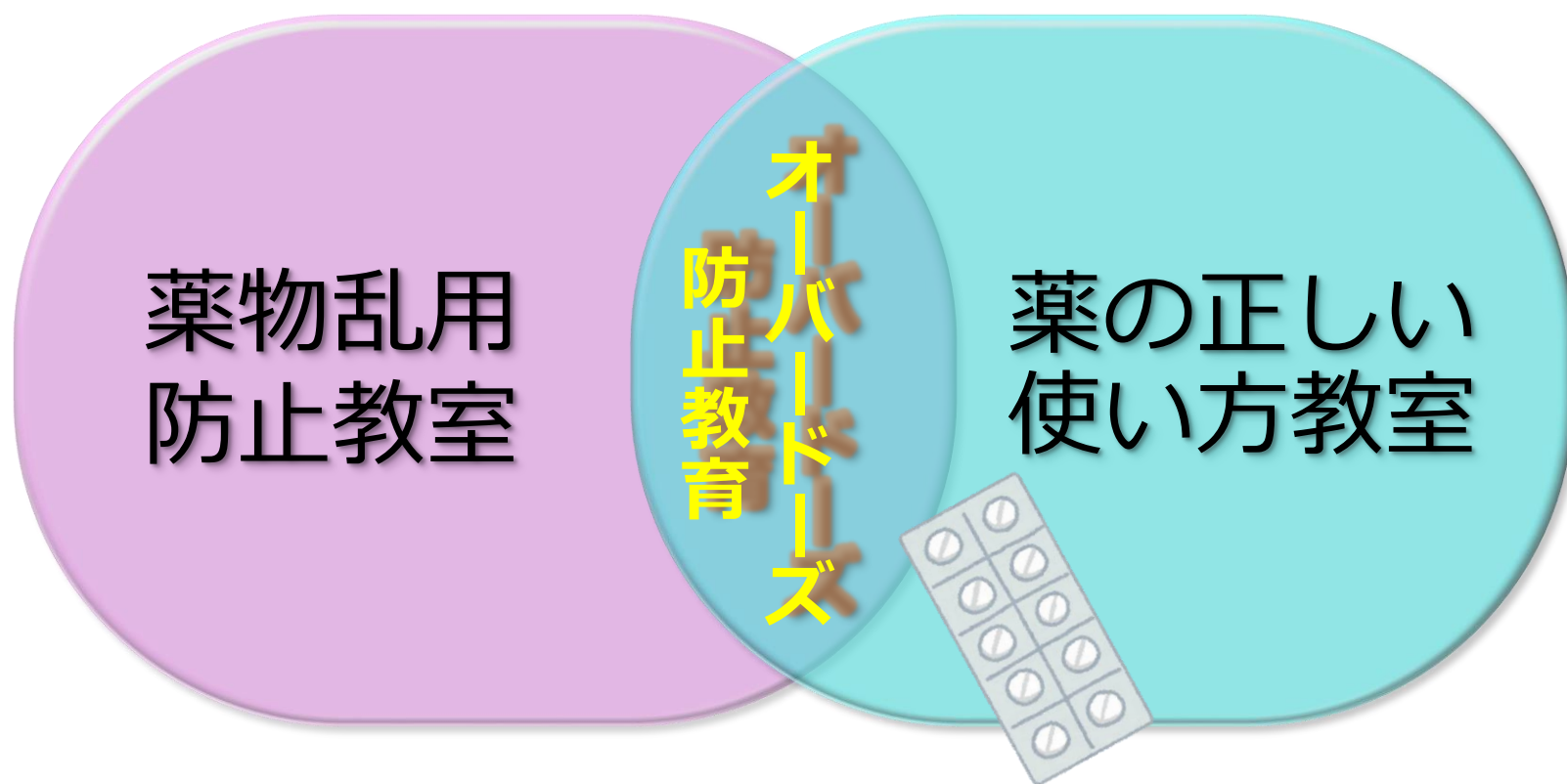


薬物乱用者に対する
適切な治療と
社会復帰支援による

再発防止

医師、臨床心理士、カウンセラー等の支援

OD防止教育＝ 二つの教育の重要な共通点

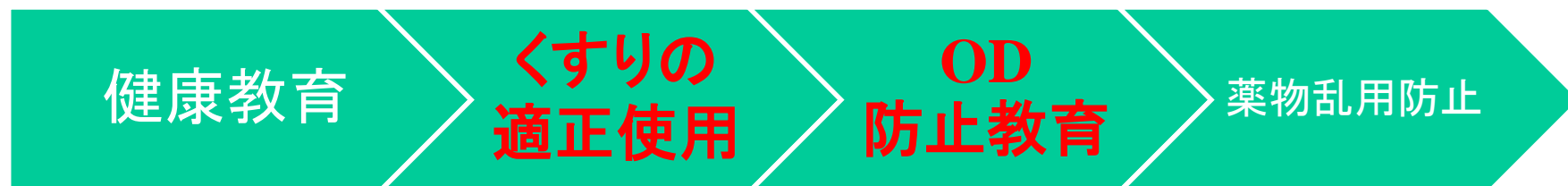


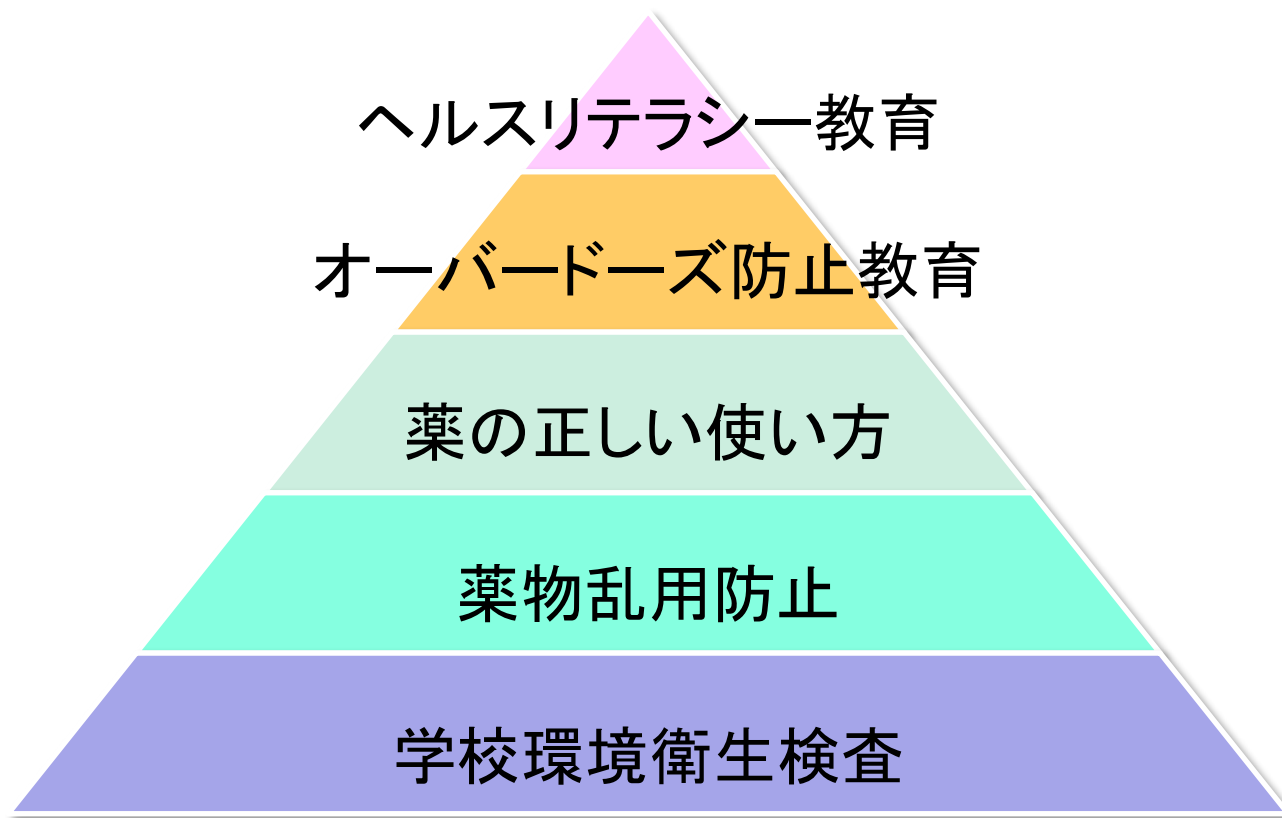
小学校における健康教育と薬物乱用防止(大麻・覚せい剤)教育の間に
「くすりの適正使用」と「オーバードーズ防止教育」を加えていくこと
(それぞれの教育の意味をより深く理解、リテラシーの向上に寄与する)

これまで



ご提案





出典：和歌山県薬剤師会・西前多香哉先生ご講演資料から抜粋

日本学校保健会

構成団体 ● **三師会** 日本医師会(日本眼科医会・日本臨床耳鼻咽喉科医会)

日本学校歯科医会

日本薬剤師会

● **学識経験者**

● **加盟団体** 都道府県・指定都市学校保健(連合)会67団体

● **職域団体** 全国連合小学校長会 全日本中学校長会 全国高等学校長協会

全国学校保健主事会 全国養護教諭連絡協議会 全国学校栄養士協議会

日本PTA全国協議会 全国高等学校PTA連合会

学校保健委員会

【喫煙・飲酒・薬物乱用防止について】

教職員代表……………保健主事、生徒指導主事・生活指導主任、教務主任、保健体育科主任、養護教諭、保健部教諭

児童生徒代表……………児童生徒会役員、児童生徒保健委員

保護者代表……………PTA役員、各学年委員長、各学年保健委員、各部署委員長

指導、助言者……………学校医、学校歯科医、学校薬剤師

地域・関係機関代表……………保健所、警察署、少年補導員、地区・町会関係者、教育委員会